

「知的障がい者等向け金融教育講座」(武蔵野東高等専修学校) 開催

平成 26 年 10 月 18 日(土)、東京・武蔵野市の武蔵野東高等専修学校において、「知的障がい者等向け金融教育講座」が開催されました。

武蔵野東高等専修学校は、幼稚園から小・中学校、高等専修学校まで一貫教育の体制で学ぶ学校法人武蔵野東学園が母体となっています。

同学園は、健常児と自閉症児が同じ環境の中で学ぶ「混合教育」と自閉症児の自立を促進する「生活療法」(Daily Life Therapy)の実践など、特色ある自閉症児教育カリキュラムを実践しています。

今回の講座は、ゆうちょ財団と武蔵野東高等専修学校の共催で、武蔵野東高等専修学校に通う自閉症の生徒の保護者を対象に、「障がいのある方の『お金』を巡る課題と支援を考える～お金の管理とトラブル防止を支えるために～」をテーマに行われました。

講師は、ゆうちょ財団の金融教育講座講師である社会福祉士の江國泰介氏が務めました。

講座は、お金の管理や使い方など、お金を巡る課題について、実際によくある事例を基に整理することから始まり、お金を巡る支援の具体的方法、金銭感覚を育む方法、おこづかいの管理の方法などについて、家庭での生活を通して実践できる方法を提案するなど、講師の豊富な経験を交えて話が展開され、実践的な講義となりました。



高校卒業時や就職時、成人式などの人生の区切りのときに、障がいを持っている人本人を、家族が大人として扱い、例えば収入をすべておこづかいとして使っていたものを、本人分の家計費として一部を家に入れるなど、今後の自立のための機会として捉えて実践するなどの提案は、高校 3 年生の生徒の保護者には心に響くものがあったと思います。

講義時間は 1 時間 30 分程度と短かったものの、参加者の皆さんの関心の高いテーマであるだけに、真剣に講師の話を聞いていました。

今回の講座開催にあたり、周知や資料の配布等お世話になりました武蔵野東高等専修学校の教職員の皆様にお礼申し上げます。